

「びわ湖の日」についてのアンケート結果

県では、令和3年7月1日「びわ湖の日」40周年であることから、年間を通して子どもから大人まで世代を超えて琵琶湖(滋賀の自然)に思いを寄せ、琵琶湖と関わっていただくきっかけづくりを実施しております。

皆さまから率直な意見をいただき「びわ湖の日」の今後の取組の参考にさせていただくことを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期: 令和3年9月

★対象者: 県政モニター298人

★回答数: 254人 (回収率85.2%)

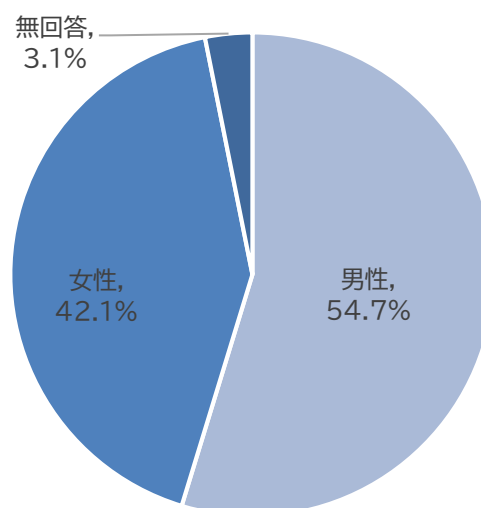
★担当課: 琵琶湖環境部 環境政策課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

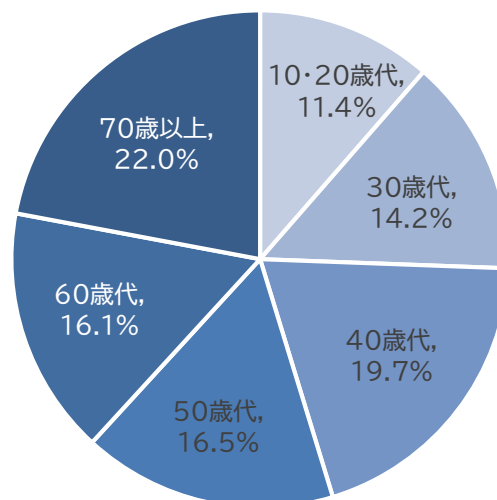
◆性別

項目	人数	割合
男性	139人	54.7%
女性	107人	42.1%
無回答	8人	3.1%
合計	254人	100.0%



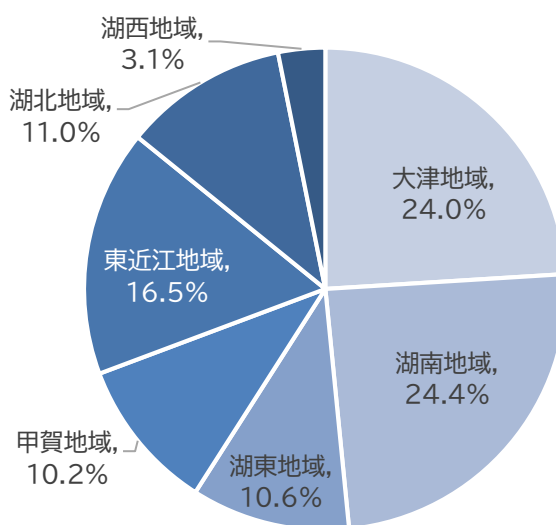
◆年代

項目	人数	割合
10・20 歳代	29	11.4%
30 歳代	36	14.2%
40 歳代	50	19.7%
50 歳代	42	16.5%
60 歳代	41	16.1%
70 歳以上	56	22.0%
合計	254	100.0%



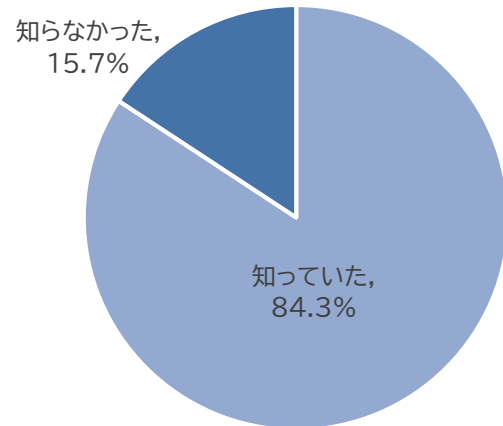
◆地域

項目	人数	割合
大津地域	61	24.0%
湖南地域	62	24.4%
湖東地域	27	10.6%
甲賀地域	26	10.2%
東近江地域	42	16.5%
湖北地域	28	11.0%
湖西地域	8	3.1%
合計	254	100.0%



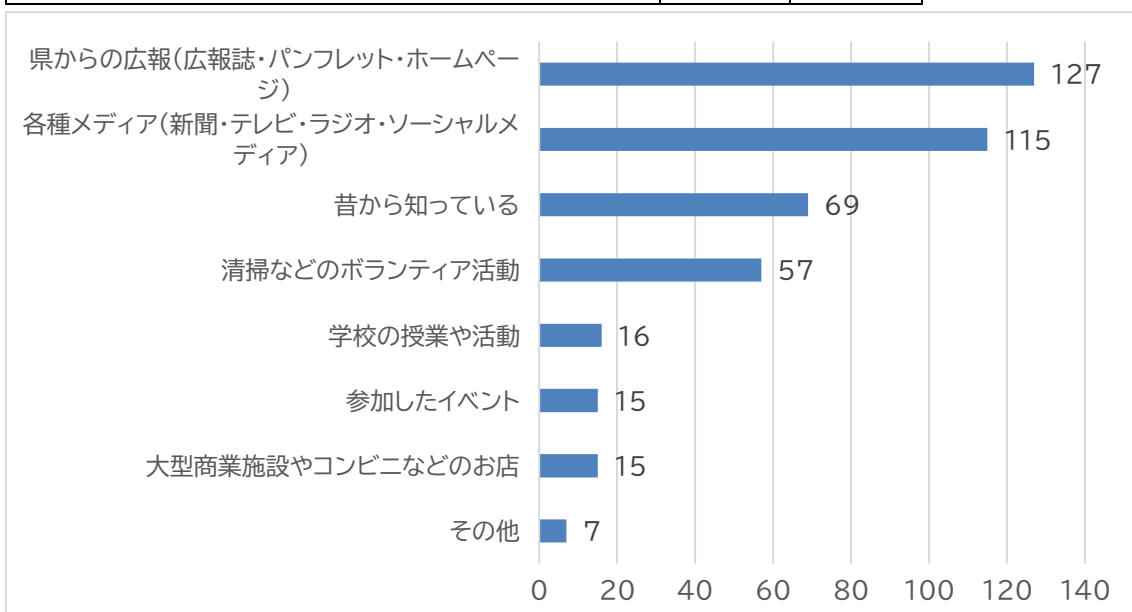
問1 7月1日が「びわ湖の日」であることを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	回答数	割合
知っていた	214	84.3%
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	40	15.7%
合計	254	100.0%



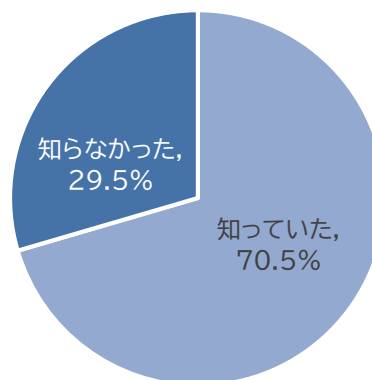
問2 問1で「1. 知っていた」を選択された方にお尋ねします。「びわ湖の日」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=214)

項目	回答数	割合
県からの広報(広報誌・パンフレット・ホームページ)	127	59.3%
各種メディア(新聞・テレビ・ラジオ・ソーシャルメディア)	115	53.7%
清掃などのボランティア活動	57	26.6%
大型商業施設やコンビニなどのお店	15	7.0%
参加したイベント	15	7.0%
学校の授業や活動	16	7.5%
昔から知っている	69	32.2%
その他	7	3.3%



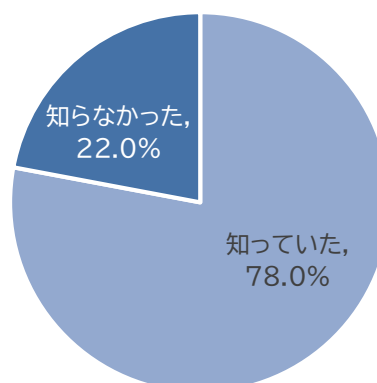
問3 「びわ湖の日」は、「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」が施行された日を記念して定められています。当条例は、1977年(昭和52年)5月に大規模に発生した淡水赤潮の原因の一つが、合成洗剤に含まれているりんに起因することがわかり、県民が主体となって、粉石けんを使おうという運動(石けん運動)の盛り上がりなどを背景に施行されたものです。こうした背景を知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	回答数	割合
知っていた	179	70.5%
知らなかった (このアンケートではじめて知った)	75	29.5%
合計	254	100.0%



問4 「びわ湖の日」は「滋賀県環境基本条例」において、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として定められています。これまで、「びわ湖の日」を中心に、県内一斉に清掃活動が行われてきたことを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ n=254)

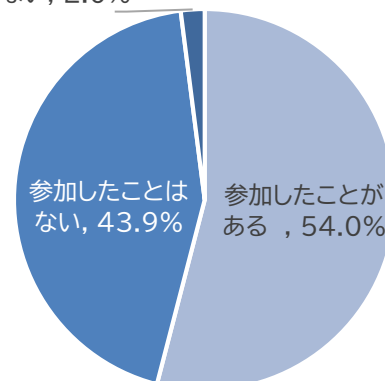
項目	回答数	割合
知っていた	198	78.0%
知らなかった (このアンケートではじめて知った)	56	22.0%
合計	254	100.0%



問5 問4で「1. 知っていた」を選択された方にお尋ねします。これまで、「びわ湖の日」の一斉清掃活動(びわ湖をきれいにする運動)に参加したことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=198)

項目	回答数	割合
参加したことがある	107	54.0%
参加したことはない	87	43.9%
わからない	4	2.0%
合計	198	100.0%

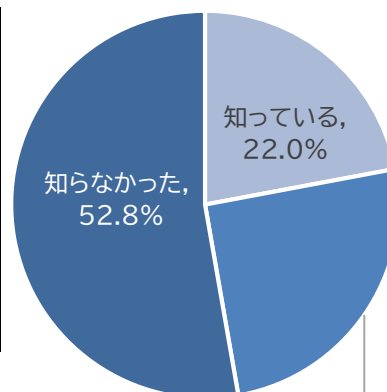
わからない, 2.0%



問6 「びわ活」(※)を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

※「びわ活」とは、びわ湖の日(7月1日)から山の日(令和3年度は8月8日)までを重点期間とした、琵琶湖を守る、琵琶湖と暮らす、琵琶湖と親しむ、といった琵琶湖と関わるさまざまな取組や活動をいいます。

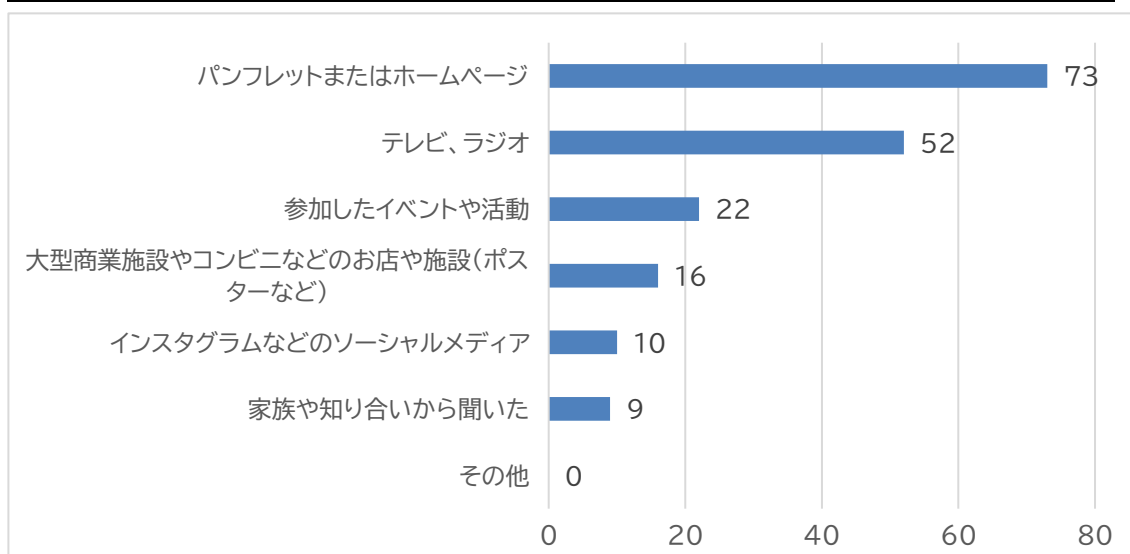
項目	回答数	割合
知っている	56	22.0%
見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった	64	25.2%
知らなかった (このアンケートではじめて知った)	134	52.8%
合計	254	100.0%



見たり聞いたりしたことはあるが、
内容までは知らなかった, 25.2%

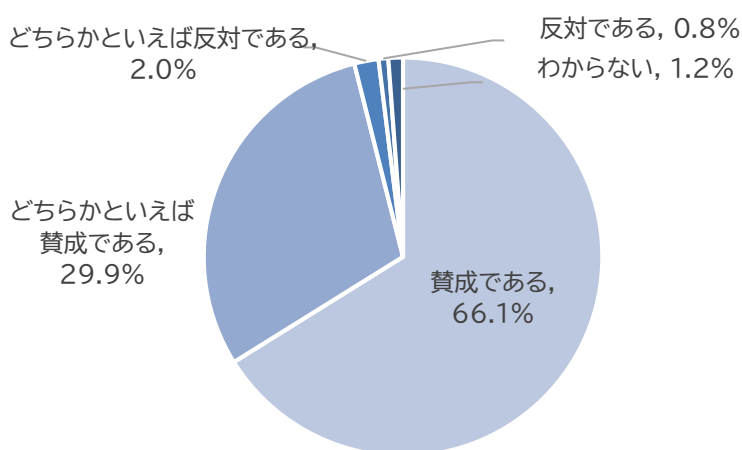
問7 問6で「1. 知っている」「2. 見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった」と回答された方にお尋ねします。「びわ活」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=120)

項目	回答数	割合
パンフレットまたはホームページ	73	60.8%
Instagramなどのソーシャルメディア	10	8.3%
テレビ、ラジオ	52	43.3%
参加したイベントや活動	22	18.3%
大型商業施設やコンビニなどのお店や施設(ポスターなど)	16	13.3%
家族や知り合いから聞いた	9	7.5%
その他	0	0.0%



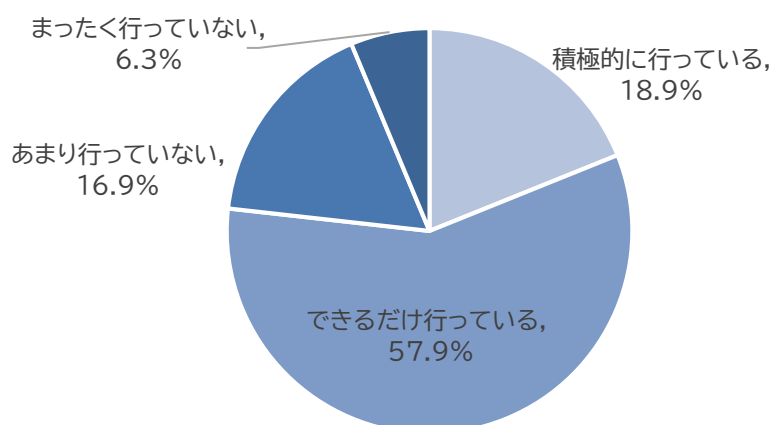
問8 「びわ活」の重点期間(びわ湖の日(7月1日)から山の日(令和3年度は8月8日))を設定して、森・川・里・湖・海のつながりを意識しながら、琵琶湖に関わるさまざまな取組や活動を推進する考えについて、どのように思われますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	回答数	割合
賛成である	168	66.1%
どちらかといえば賛成である	76	29.9%
どちらかといえば反対である	5	2.0%
反対である	2	0.8%
わからない	3	1.2%
合計	254	100.0%



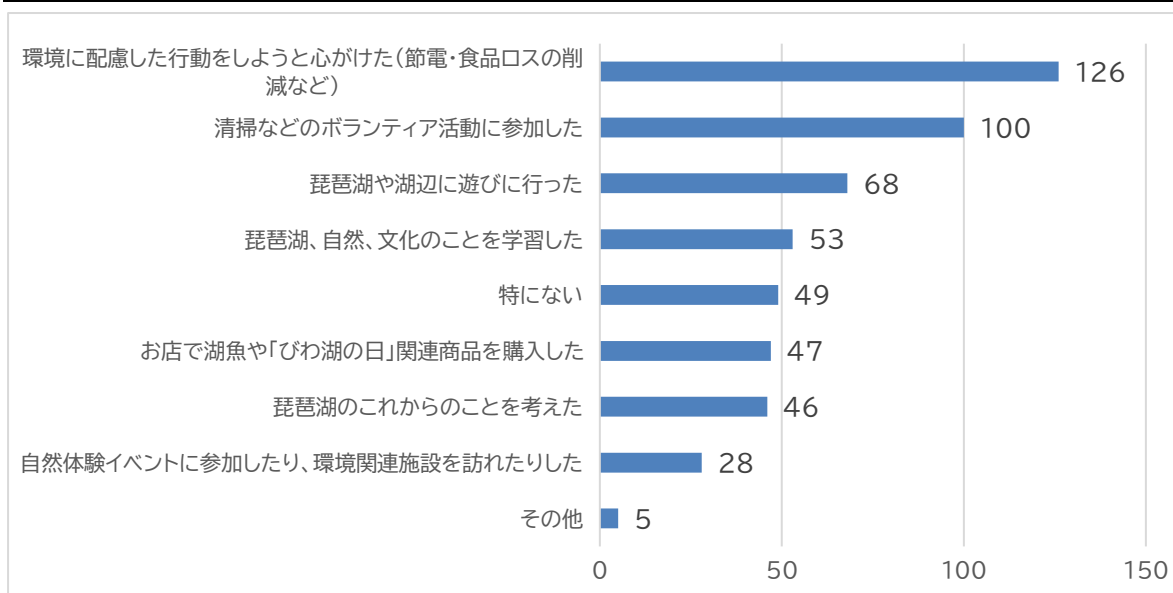
問9 あなたは、日頃、環境保全行動*を実施していますか。(回答チェックは1つだけ n=254) *環境保全行動…琵琶湖の清掃やヨシ刈り体験参加、食品ロスの削減、節電など、環境保全のために行う行動のもの。

項目	回答数	割合
積極的に行っている	48	18.9%
できるだけ行っている	147	57.9%
あまり行っていない	43	16.9%
まったく行っていない	16	6.3%
合計	254	100.0%



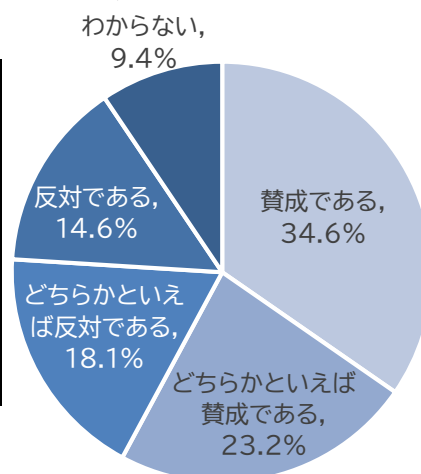
問10 今年、「びわ湖の日」や「びわ活」を意識して関わったことがあれば教えてください。
 (「9. 特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=254)

項目	回答数	割合
自然体験イベントに参加したり、環境関連施設を訪れたりした	28	11.0%
清掃などのボランティア活動に参加した	100	39.4%
お店で湖魚や「びわ湖の日」関連商品を購入した	47	18.5%
琵琶湖、自然、文化のことを学習した	53	20.9%
琵琶湖や湖辺に遊びに行った	68	26.8%
環境に配慮した行動をしようと心がけた(節電・食品ロスの削減など)	126	49.6%
琵琶湖のこれからのことを考えた	46	18.1%
その他	5	2.0%
特にない	49	19.3%



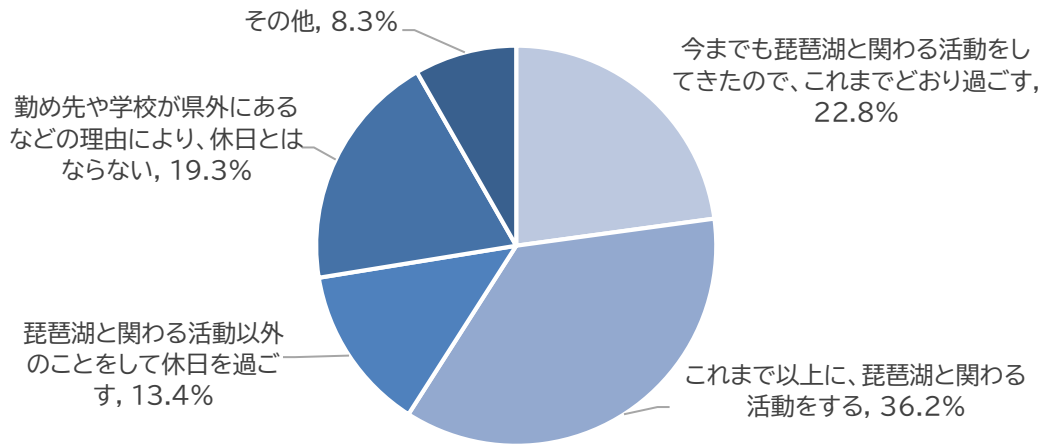
問11 7月1日「びわ湖の日」を県内において休日とすることについて、あなたはどのように思いますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	回答数	割合
賛成である	88	34.6%
どちらかといえば賛成である	59	23.2%
どちらかといえば反対である	46	18.1%
反対である	37	14.6%
わからない	24	9.4%
合計	254	100.0%



問12 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、どのようなことをして過ごしますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	回答数	割合
今までも琵琶湖と関わる活動をしてきたので、これまでどおり過ごす	58	22.8%
これまで以上に、琵琶湖と関わる活動をする	92	36.2%
琵琶湖と関わる活動以外のことをして休日を過ごす	34	13.4%
勤め先や学校が県外にあるなどの理由により、休日とはならない	49	19.3%
その他	21	8.3%
合計	254	100.0%



問13 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、良いと思われることがあれば教えてください。(抜粋)

- ・琵琶湖関連のイベントが各地であればうれしい。
 - ・琵琶湖の認知度が上がり、自然と意識されるのではないかと考える。
 - ・「びわ湖の日」という祝日の名の響きが、7月1日になるたびに印象に残りやすいため琵琶湖のことを考えたりするきっかけになりやすいと思われる。
 - ・「びわ湖の日」があるということが知られ、イベント等が行われていればそれに参加する人も出てくると思う。
 - ・琵琶湖一斉清掃に子どもも参加しやすくなる。県民が一体となって湖岸清掃ができるようになる。
 - ・いつも身近にある琵琶湖が守るべき存在だと改めて思う機会になると思う。
 - ・「びわ湖の日」があるということを県民全体が認知できる。
- 県主催の琵琶湖にまつわるイベントや、米原や大津など県外の入り口になっている場所で、全国にPRするのも良いと思う。
- ・「びわ湖の日」が滋賀県の休日になることにより、滋賀県の琵琶湖に対する意識がとても高いことが全国的に知られ、「滋賀県は琵琶湖と一体であり、琵琶湖は滋賀県である」と全国に知られる。
 - ・今までよりも「びわこの日」の認知度があがり、びわ湖について学習したり考えたりする機会がふえると思う。
 - ・琵琶湖のために何かしたいが何をしたら良いのかわからない人も多いと思う。琵琶湖の日に県民として取り組む目標などあれば、自分にもできることがあることが伝わると思う。

問14 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、不都合なことがあれば教えてください。(抜粋)

- ・官公庁が休みになり、行政サービスを受ける機会が少なくなる。
- ・特に休日にする必要はないと思う、今も意識していない人は、たとえ休日になっても意識しないと思う。
- ・学校が休みだと、びわ湖の日当日に学習することができなくなる。子どもたちへの認知度や関心が薄くなるのではないか。当日のイベントに、親子で参加できる家庭はいいが、参加できない子どもへのフォローが必要だと思う。
- ・滋賀県の企業でも休めない企業もあるので全県民一斉参加などが難しいと思う。
- ・親が他府県に勤務している場合、公立学校が休日になると子どもの預け先に困る方もいるのではないか。
- ・勤務先や学校が県外にあるなどの理由により、休日とはならない人々が多くいる事実を重くとらえるべきと思う。特に県内のみで休日とする必要性が理解できない。
- ・県外に通う人との温度差ができる。滋賀に住む人だけが琵琶湖を守り考える訳ではないので納得しにくい。
- ・企業の経済活動が低下する。学校における教育活動に悪影響を与える。沖縄県や広島県ほどのインパクトのある根拠がないのに休日にする理由がない。
- ・現状でも多くの祝祭日が休日となっているのに「びわ湖の日」で増やす必要が無いと思う。休日としたとしても多くの方は他の休日と同じ過ごし方をすると思う。
- ・県外企業とのお付き合いにおいて、滋賀県の企業が休日であることの周知が完全にできない場合、面談などの日程になど調整に工数がかかる。
- ・「びわ湖の日」は休日ではなくて琵琶湖について活動する日とするべきだと思う。ただ単なる休日にしても仕方ない。
- ・そもそも休日にする必要性は感じられない。一年 365 日、常に考え行動することが必要である。

問15 「びわ湖の日」に関して、今後、県、事業者、民間団体等に対して期待することなどがありましたらお聞かせください。(抜粋)

・今の世の中的に、環境への配慮がマストになってきており、さらに積極的に環境のために取り組む企業や団体が増えると思う。

・琵琶湖の今後の展望、保護の方向や手法について、多くの場で PR してもらい、多くの方々に興味を持ってもらうように働きかけて欲しい。宿泊や商品購入の機会を通して、自然保護に視野を広げてもらえるような工夫をお願いしたい。

・今までは、近所の清掃活動に参加してきましたが、「びわ湖の日」のイベントが増えたら午前中は地域の清掃活動、午後は別の場所の活動、とイベントのはしごをして、楽しくびわ湖のための活動をしたい。スタンプラリーなどがあると、より意識が高まりそうです。

・「びわ湖の日」の設定趣旨や活動を、もっと広報してほしい。特に、他府県から琵琶湖に遊びに来る観光客等には、十分周知して頂きたい。びわ湖に対する考え方が、滋賀県居住者と他府県から遊びに来る者と、全然違う事を考えに於いて、広報する必要があると思う。

・琵琶湖に関する取組やニュースを SNS を使って積極的にアピールし、活動に参加できる場を多く設ければどうか。

・びわ湖に関わるイベント等を開催して欲しい。

・滋賀県民にとって、琵琶湖は自慢の一つ。これからの子供たちがその琵琶湖を誇りに思ってくれるような、取組みを積極的にお願ひしたい。フローティングなど、滋賀に住んでいたからこそ経験出来ること、親の代から続く歴史あるものを大事に守っていきたい。

・「びわ湖の日」は、琵琶湖の恵を受ける近畿の地域に広げて活動してほしい。他府県から琵琶湖の観光や清掃のボランティアに来ていただける、他府県へのアピールの日にしてほしい。

・県内を意識した活動でなく、県外の人にも知って貰う、参加できる活動、行事を目指した方が琵琶湖を理解し環境保全、改善に効果があると思う。

・休日にしなくてもいいので、もっと行政と企業が連携して、環境を考える大きなイベントとして県民全体を巻き込むようなものにしてほしい。

・県や、事業者、民間団体が連携したイベントが開催され、県民の一人でも多くの人がイベントに参加し、「びわ湖の日」を実感してもらえるようにできればと思う。